

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 10 月 11 日 (2012.10.11)

【公表番号】特表 2012-501146 (P2012-501146A)

【公表日】平成 24 年 1 月 12 日 (2012.1.12)

【年通号数】公開・登録公報 2012-002

【出願番号】特願 2011-524501 (P2011-524501)

【国際特許分類】

H 0 4 W 24/06 (2009.01)

H 0 4 W 8/26 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 2 4 3

H 0 4 Q 7/00 1 6 1

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 8 月 22 日 (2012.8.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 19

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 19】

第 1 のネットワークシステムで動作するために構成されたネットワーク装置と、第 2 のネットワークシステムで動作するためネットワークアドレスで構成された加入装置とを少なくとも備えた無線ネットワークシステムを試運転するための方法であって、

前記ネットワーク装置が、前記ネットワーク装置と前記加入装置との間の距離に対応する近接情報を供給するため発見メッセージを報知し、

前記加入装置は、前記発見メッセージを受信すると、前記近接情報が既定の近接値と一致するかどうかを決定し、前記近接情報が前記近接値と一致する場合、試運転モードに入るように構成されて、前記加入装置が第 1 のネットワークシステム内でアドレス可能である、方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0177

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0177】

加入装置 111 は、ステップ 141 で前記発見メッセージを受信し、その信号強度検出器 80 は、前記発見メッセージの受信した信号強度 (RSSI) を決定する。RSSI 値は、CPU 24 へ転送され、CPU 24 は、ステップ 142 で近接メモリ 120 からポーリングされた信号強度閾値と RSSI 値を比較する。RSSI 値が信号強度閾値以上である場合、すなわちネットワーク装置 1 が加入装置 111 に 0.5 メートルより近い場合、加入装置 111 は、ステップ 143 - 147 に従って、試運転モードに入る。